



おかげさまで10期目を迎えることができました。皆様のご愛顧に感謝いたします。



# エコバウリフォーム・ニュース

2月号 \*エコロジー x バウジオロジー (建築と生態学を融合させた人間中心の建築設計です)

## ドイツ・環境都市フライブルク／エコバウ建築視察・第③回！

ルクセンブルグ、フランス・ストラズブールを視察後、ドイツ「黒い森」の南でエコロジーの

聖地として知られるドイツ・【フライブルク】に到着しました。敷地5000㎡にモデルハウス、ハーブ園、2つの池のある環境教育センター【エコハウス】は、1991年に建築され環境やエコ意識を学べる教育施設で年間1.5万人が利用しています。ドイツは2011年以降、日本の次世代省エネ基準の3倍の基準を持つ【パッシブ・ハウス】が義務となります。エネルギー全体の4割を暖房が占めるドイツは日本では想像もできない省エネ基準と規制があり、基準を満たさない住宅は建てられず、住めないという法律です。笑えない話ですが、少し前のドイツの住宅を視察することは日本人にとって非常に現実的なものということになる訳です(苦笑) このエコハウスは地元の自然素材、リユース材を使い、屋根緑化や粘土壁で蓄熱性能を最大限に引出し、暖房はパッシブソーラーで太陽熱を集熱し温水パイプを壁に組み込み、電力はアクティブソーラー太陽電池でまかなうもの。今の日本の省エネ住宅に似ています。

### 【緑の教室】生態系やゴミを出さない暮らし方を学ぶ！

エコハウスの約250の教室では生態系やゴミを出さない暮らし方を体験しながら学ぶ【緑の教室】のほか、有機農業や家畜と触れ合う実習も開かれます。指導は12人の専任職員達と【ガーデンマイスター】と呼ばれる資格を持つ市民ボランティアたち。運営の多くは団体、企業の寄付によってまかなわれています。ドイツの教育に対する寄付は非常に多い。いまやフライブルクの住民参加によるサステイナブルな町づくり(省エネ・緑化・脱車社会への挑戦)は世界中の注目の的だが、エコ意識は最初から備わっていたのではなく『育てる』機会と仕組みが必要だということを実践は教えてくれます。取材 (株)アップル 大竹喜世彦



ルクセンブルグ〜フランス〜ドイツへ



木材は黒い森のドイツトウヒ(松科)丸太を八角錐状に組み上げたもの



土壁に組み込まれた温水パイプ 日本ではシェア100%の石膏ボードはドイツでは土壁ボードに変わっている



ハーブ園と有機菜園がある戸外



太陽熱集熱のパッシブソーラーパネル +太陽光発電のアクティブソーラーパネル



かまどの様な漆喰塗りのストーブ ストーブの燃料は木質なら何でもOK



ゴミは8種類に分別



ガーデンニングも薬草調理教室も開催

### 【建築と生物学】を結ぶ【バウジオロジー建築】

日本には自然とかかわる【しつらえ】に親しみ自然と共に暮らす習慣がありました。『エコバウ・リフォーム』は自然素材を多用する私達の考えが詰まった『エコロジーで健康』なコンセプトリフォーム。アップルで推進中です!!



## > 『できることから、やろう!』では・・・結局、向き進まない日本との比較! パッシブ・ソーラー建築と公共交通



大聖堂のある旧市街地は車の制限

フライブルクの人口は約22万で大学関係者2.5万人、公務員関係者1万人が多く、保守勢力が強い南バーゼル地方にあってフライブルクだけは、例外的に改革派の【緑の党】が強い地域です。きっかけは、若者達の勇気ある【原子力エネルギー利用反対運動】がフライブルクで起きたことがあげられます。またフライブルクがソーラーシティと呼ばれる所以は、ドイツで最も日射の多い都市で、原発に代わる先進的な再生可能エネルギーとしてソーラー利用が推進され50社近いソーラーカンパニーが、フライブルクで誕生したことがあげられます。



ドイツでは国民のエネルギー消費は住宅、交通、産業が3分の1づつを占め、住宅の省エネ対策として【パッシブ・ハウス】の取り組みが進みました。フライブルクで省エネが飛躍的に進んだのは、30cmの壁断熱、25cm床断熱、50cm屋根断熱、3層ガラス等の断熱仕様+太陽熱と光のソーラーエネルギーを建築に積極的に導入した事によるものです。交通の面では、都心の車の排除運動が始まり駐車場となっていた旧市街地の大聖堂広場は、車の進入制限がされ日常に必要な物販を都心に集中させ、郊外への商業の立地制限を行い、都市のスプロール化を禁止しました。また徒歩でも生活ができるようにトラムと自転車が市民の足となる大胆な政策がとられました。企業の駐車場は車通勤で相乗りの人は有利、反面一人乗りする人は不利となる補助金も導入された。電車通勤する人の定期券は休日に家族が無償で乗車可能とし、人々の移動を車から公共交通に向かわせる賢い政策がとられました。ニュータウンの駐車場は200mを最低歩く距離につくられました。自転車が安全走行できる専用レーンを設け、パーク&ライドできる駐輪場、修理などのサービスが受けられる施設も誕生しました。取材: (株)アップル 大竹喜世彦

●エコ建築&環境の取り組みは。。。アップル [www.reform-apple.com](http://www.reform-apple.com) トピックス

### ★(株)アップル、社員が参加した講習会・イベント★

- 1/21(金)【建築リサイクル法説明会・大阪】主催:大阪府建設行政連絡協議会
- 1/21(金)【京街道の宿場町枚方視察・大阪】主催:日本民家再生協会
- 1/22(土)【国指定重要文化財・摂津能勢の民家視察・大阪】主催:文化庁
- 1/29(土)【登録有形文化財・岸本邸再生見学会・埼玉】旧日光街道幸手保存会



弊社ホームページで毎日掲載中です。



次号もアップル隊長の【エコバウ建築視察】の最新情報をお伝えします!!

★自治医大で唯一の住宅リフォーム専門会社★ 建設業許可、管理建築士のいる(株)アップルまで

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム  
**ECOBAU REFORM**

リフォームアップル自治医大店

TEL 0120-393-897

栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434

(自治医大駅東口・足銀すぐそば)

TEL 0285-44-8208 (fax共通)

リフォームアップル自治医大店  
URL <http://www.reform-apple.com>

ホームページで実例を多数ご紹介中。